



辻井伸行(ピアノ)

2009年6月に米国テキサス州フォートワースで行われた第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールで日本人として初優勝して以来、国際的に活躍している。11年と14年にはカーネギーホール、13年のイギリス最大の音楽祭「プロムス」、15年のウィーン楽友協会をはじめとする演奏会はいずれも絶賛されている。16年から17年にかけてアシュケナージ指揮でシドニーとベルリンで演奏して絶賛された。17年秋もロンドン・フィルとの日本ツアーやパリのシャンゼリゼ劇場でのリサイタルなど注目の公演が行われる。エイベックス・クラシックスより継続的にCDを発表し、2度の日本ゴールドディスク大賞を受賞。作曲家としても注目され、映画『神様のカルテ』で「第21回日本映画批評家大賞」受賞。

PHOTO: YUJI HORI



辻井伸行、衝撃のCDデビューから10年！

2007年発売の辻井伸行のデビューCD『début』は、発売以来、売上枚数は28万枚を超えて、クラシックとしては異例の大ヒット&ベストセラーとなっています。それから10年、デビュー10周年を記念してリリースされるこのアルバムは、これまでの音楽活動の中でレコーディングしてきた主要な作品を、クラシック曲と自作曲に分けて収録した超豪華盤！辻井ならではの感動的な演奏で、クラシックの名曲の数々と魅力的な自作曲が存分に楽しめます。

début 10 years | 辻井伸行

Disc 1◆CLASSICAL ショパン：英雄ポロネーズ／ドビュッシー：ペルガマスク組曲、喜びの島

ラヴェル：亡き王女のためのバヴァース、水の戯れ／リスト：ラ・カンパネラ 他

Disc 2◆ORIGINAL しあわせな未来／水と緑の物語／鳥獣戯画／美の巨人たち／マエストロ！ 他

2CD AVCL-25946~7 定価：¥2,778(本体価格)+税 • 11月8日発売・

avex-classics

大和証券グループ presents 辻井伸行 日本ツアー début 10 years

2007年10月、10代後半を迎えていた辻井伸行は、プロのピアニストとして生きてゆくことを決意し、クラシックの名作と自作曲からなる意欲的なデビューアルバム『début』を発表しました。このアルバムは、瞬く間に大きな話題を呼び、28万枚という驚異的な売上を記録、クラシックの歴代CDの中で、もっとも売れたCDのひとつと言われ、現在もベストセラーを続けています。

それから10年。国内外で様々な経験を積んできた辻井伸行は、2017/18年シーズンの「大和証券グループ presents 辻井伸行 日本ツアー」で、この10年間でもっとも演奏してきた名曲の数々に加えて、未来性のある作品を披露する意欲的なプログラムで挑みます。

コンサート前半は、辻井伸行の十八番でもあるショパン、ドビュッシー、ラヴェル、リストの名曲を惜しげもなく披露し、後半は、時代性や民族性、ジャズの要素の融合が眩しいばかりの魅力を放つガーシュウィン、サティ、カプースチンの名曲を一気に演奏！ デビュー10年を記念した辻井伸行の魅力全開のリサイタル・ツアーです。